

令和5年 1月27日 (金)

あさひの日だまり

NO.35

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～児童会の選挙が行われました～

新役員さん頑張って下さい



26日(木)に児童会の立会演説会と選挙が行われ、選挙結果が27日(金)の朝、昇降口に張り出されました。26日に用事があって学校を空けていましたので、教頭先生に全校へのお話をさせていただきました。どんな立会演説会の様子だったかなと思いがちでしたが、教頭先生からメールで「素晴らしい立会演説会でした。思わず褒めてしまいました」と送られてきました。「二人ともきっと立派に思いを語ったんだろうな」と想像されて、頼もしい思いになりました。選挙結果によって正副児童会長が決まりました。二人を校長室に招いて、どんな児童会を作っていってほしいか校長としての願いを伝えたいと思います。私は、児童会が先頭を切って

学校の進む方向を示してほしいと思っています。先生から指示をされたことを忠実に実行できることが児童会の仕事ではないと思っています。ともに学校を創る同志として、課題解決に取り組んで行かれたらと思っています。そんな私の願いを語りたくと思っています。

～来入児1日入学 保護者説明会がありました～

1年生がお兄さんお姉さんになりました



来入児の活動を見つめる1年生

25(水)に来入児1日入学と保護者説明会がありました。来入児は、1年生と一緒に教室で読み聞かせをしたり、物作りを一緒にしたり、絵をかいたりして過ごしました。「〇〇さんが、来入児に一生懸命優しい声で、お絵かきする？それとも絵本にする？って聞いている姿を見て、本当に頑張ってるなって思えました」とその場にいた先生がお話ししてくださいました。「今日は、1年生本当によく頑張っていたと思います。本当に立派な姿でしたよ」とお話しして下さる先生もいました。まだまだ幼い部分も残る1年生ですが、たまに教室を訪ねると「〇〇さん、もう甘えてちゃダメでしょ!」とお互いに声をかけあっている姿にも出会います。

そんな様子に出会ったり、今回の来入児とのやり取りの様子を耳にしたりすると、こうやって次第に新入生は小学生になっていくんだなと実感します。

1年生はもうすぐ2年生です。教室に入った瞬間に、1年生と2年生ではガラリと雰囲気が変わることに驚きます。新入生との新しい出会いはとても楽しみです。それと同時に、1年生の成長もまたとても楽しみです。

保護者説明会の中で、来入児の保護者の皆様にお話をする機会をいただきましたので、こんなお話をさせていただきました。目を通していただけたら幸いです。

保護者の皆様、本日はご来校誠にありがとうございます。

お子様の小学校へのご入学辰野東小学校職員一同心よりお待ちしております。

今日はこの時間をお借りして3つのこととお話ししようと思います。

まず一つ目です。小学校になりますと、幼稚園や保育園の時と違って、「うちのことよその子の違い」が次第にはっ

きりと見えてくることと思います。保護者の皆様はきっとそんな我が子を見ながら、少なからず不安を感じたりもするときもあると思います。

「ほかの家の子とも同じように、普通の子どもでいて欲しい」そう思うかもしれません。

「あまり目立つといじめられやしないか」と不安になることもあると思います。

でもよく考えてみていただきたいと思います。私たち大人の世界ではどうでしょうか。「他店との違いをどう売り込んでいったらいいだろうか」「社内において、ほかの人との違い、言い換えれば私の売り、をどうやって出していったらいいだろうか」そういうことを考えるのだからと思うのです。

他の子と違うことは、それは私はとても素敵なことだと思っているんです。「目立つからやめて!」といわないであげてください。他の子と違うところがあることはとても素敵なことなのです。

忘れ物が多いと怒らないでください、やがて忘れ物をしない方法を自分で編み出します。忘れ物をする子だけが自分のものにできる貴重な経験です。行動が遅いと嘆かないでください。ゆっくり考えながら行動することはやがて大切な生き方の一つになっていきます。

もし、うちの子心配、と思ったらいつでも学校へ相談してください。その子の良さを伸ばす方法を一緒に考えさせていただきます。

二つ目です。それは勉強についてです。学校でも勉強内容を吸収するには、私はこのことが一番大事だと思っていることがあります。それは「話し手の言っていることをよく聞く」ことです。発言しているお友だちや、先生の方へすっと目が向くことです。

じゃあそういう子どもの姿になってもらうにはどうしたらよいかということです。

私はこう思っています。お家で、「ねえねえお母さん」とか「ねえねえお父さんさん」とか「今日ね・・・」とつぶやくことがあります。その時に、何をおいても、手を止めてお子さんの目の高さで、目を見ながら「どうしたの?」と声をかけてあげてください。お子さんは、知らず知らずのうちに「人が話し始めたらこうやって反応してあげるものなんだ」と身に染みていくはずですよ。私たち職員も気を付けてまいります。ご家庭でもどうぞよろしくお願いします。

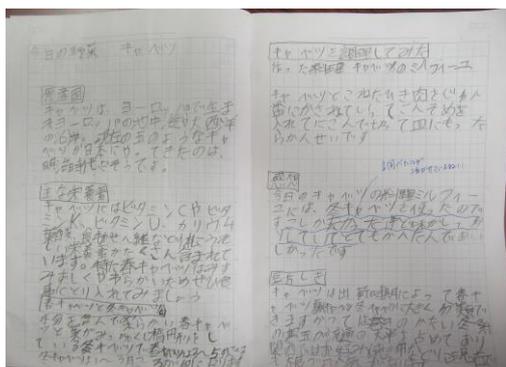
最後に三つ目です。私は、先生方に「自律した子どもの姿」をみんなで目ざしましょうとお願いしています。自分で考えて自分で判断して動ける子という意味です。学校でも、先生に相談してきたら、まずは「自分ではどうしたいと思うの?」と聞くようにしています。何か問題が起きて指導する時も「次からはどうしたらいいと思う?」と子どもに決めさせてあげましょうとお願いしています。クラスの問題も同じです「みんなでどうしたらいいか考えてみなさい」と子どもに返してあげたいと思います。そうすると、問題の解決にはどうしても時間がかかります。ご家庭から見て、「何をもたもたしているんだ」とお感じになることもあるかもしれません。そんなときはどうぞ、「子どもに考えさせているんだな」とご理解いただきお許しください。

それでも何か心配なことがあればいつでも学校へご連絡ください。どうぞよろしくお願いします。

これからいろいろとお世話になります。本日は本当にありがとうございました。

～週末の自主学習頑張ってください～

素敵な学習内容を紹介します



6年生の教室へ行ってみたら、子どもたちが何やら一生懸命書いていました。「何を書いているの?」とたずねたら、「校長先生の言ったやつだよ」と言いながら、表紙を見せてくれました。そこには「自習学習の計画」と書かれていました。あ～、この週末の自主学習を何にするか決めているんだ、ということがわかりました。5年生の先生が「校長先生見て下さい、これいいでしょ?」といってクラスの子の自主学習のノートを見せてくれました。それがこの写真です。題名は「今日の野菜」。野菜の原産国から栄養素、そして、調べた素材を使って実際に料理をしてみてその感想まで記されているのです。学習内容を見ただけで楽しくなりました。「これっていいねって本人に伝えてあげてください」とお話をしました。